

事業番号	15 05 02	事業改善シート（令和 6 年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	特別支援学校体制整備事業	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課				
		実施期間	S24 ～	E-mail	tokubetsu-shien @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

・県立特別支援学校は、施設・設備の老朽化や児童生徒数の増加に伴う狭隘化が進んでおり、計画的な環境整備が必要。 ・児童生徒一人ひとりの生活上・学習上の困難を改善・克服する上で有効な I C T 活用に関する取組を推進してきたが、最適な支援ツールの効果的な活用に向けた体制整備と教員の支援力向上が必要。
--

2 事業目的

老朽化や狭隘化が進む特別支援学校について、長期的な視点に立った改築等を推進するとともに、施設・設備の計画的な修繕・改修、及び設備の充実等により、これからの学びに相応しい教育環境の整備を推進する。

3 事業目的を達成するための取組

①長野県特別支援学校整備基本方針等に基づく長期的な視点に立った改築等 ・老朽化・狭隘化する特別支援学校について、建物の状況、児童生徒数の将来推計、地域の教育環境等を踏まえ、新しい学びを実現するための計画的な改築等を推進する。 ・老朽化が著しい松本養護学校・若槻養護学校において、令和 5 年度から実施している設計業務を踏まえ、工事等に着手
②中長期修繕・改修計画等に基づく応急的な視点に立った修繕・改修と施設設備の整備 ・特別支援学校の施設・設備の老朽化や不具合等に対して、中長期修繕・改修計画に基づき、実態の詳細な把握に基づく、計画的な修繕・改修を行う。 ・通学保障を行う上で必要なスクールバスのニーズに応じた配置・運行を行う。 ・安全安心で快適な学習環境を実現するため、普通教室や特別教室等の空調設備の設置や、ニーズに応じた洋式・多目的トイレの設置・更新及び修繕を行う。 ・児童生徒が安心して生活できる環境を整備するため、早期に対応が必要なトイレ改修工事（3 校）及び昇降機更新工事（1 校）を実施 ・経年劣化したスクールバス 3 台を更新するとともに、児童生徒数の増加に伴う定員超過や通学生の増加に対応するため、スクールバスの 2 台増車を実施 ・物価高騰に伴う学校給食費等の値上げに対する保護者負担の軽減を図るため、食材費高騰分を支援する
③ I C T 活用による支援充実にに向けた環境整備 ・ I C T 活用による学習環境の充実のため、一人一台端末の整備・更新を進めるとともに、特別支援学校内のネットワーク環境の整備を図る。 ・一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を推進するため、先進的な I C T と A T（アシスティブ・テクノロジー）を活用した支援の拠点を整備する。

4 成果指標

（推移の凡例 ♯：改善 ♭：悪化 →：変化なし ―：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	指標なし										
②	計画に位置付けた修繕・改修の各年度における実施率	%	9.2	17.2	↗	21.1	↗	20	達成	中長期修繕・改修計画において、令和３年度からの10か年で185箇所を整備することが長期目標であり、令和６年度は20%を目標とする。	
③	個別の指導計画に個のニーズに応じたICT活用が位置づけられている児童生徒の割合	%	73	77	↗	84	↗	85	未達成	第３次長野県特別支援教育推進計画でR９年度目標を100%と設定したため、２年度目であるR６年度は85%を目標とする	

5 本事業が貢献する総合 5 か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近 3 か年の状況						目標	
				年/ 年度	数値	年/ 年度	数値	年/ 年度	数値	年/ 年度	数値
5-2①	一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境の創出										

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R6年度	890,979	2,069,429	364,133	3,324,541	1,900,939	2,731,777	4.5
R5年度	548,332	2,358,423	277,671	3,184,426	1,574,151	2,078,850	4.5
R4年度	692,413	865,181	532,602	2,090,196	1,335,380	1,436,966	3.7

事業番号	15 05 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）			☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	特別支援学校体制整備事業			部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課	

7 主な取組実績と成果

①長野県特別支援学校整備基本方針等に基づく長期的な視点に立った改築等 ・改築に向けて取り組んでいる松本養護学校と若槻養護学校において、設計の実施や、解体工事及び仮校舎工事に着手した。
②中長期修繕・改修計画等に基づく応急的な視点に立った修繕・改修と施設設備の整備 ・特別支援学校の施設・設備の老朽化や不具合等に対して、中長期修繕・改修計画に基づき、実態の詳細な把握に基づく、計画的な修繕・改修を行った。 ・通学保障を行う上で必要なスクールバスのニーズに応じた配置・運行を行った。 ・安全安心で快適な学習環境を実現するため、特別教室の空調設備の更新や、ニーズに応じた洋式・多目的トイレの設置・更新及び修繕を行った。
③ICT活用による支援充実に向けた環境整備 ・ICT活用による学習環境の充実のため、一人一台端末の整備・更新を進めるとともに、特別支援学校内のネットワーク環境の整備を図った。 ・一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を推進するため、先進的なICTとAT（アシスティブ・テクノロジー）を活用した支援の拠点を整備するため、ICT・ATリソースセンター通信の発行や機器の導入を行った。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標②	計画に位置付けた修繕・改修の各年度における実施率	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	達成
計画的に整備を実施し、目標値を達成した。							
指標③	個別の指導計画に個のニーズに応じたICT活用が位置づけられている児童生徒の割合	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	未達成
個々の実態把握をもとにした個別最適なICT活用を指導計画に位置付けた上で計画的、段階的に指導・支援を実践している。指導計画への位置づけは徐々に進んでいる段階であるものの、学校間ではばらつきがみられ現状では目標値を下回った。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題 ・教科に準ずる教育課程の学校での個別最適なICT活用の位置づけをより具体的にしていくな必要や各校の好事例の共有を図る必要がある。 ・計画的に修繕・改修に取り組んでいるものの、特別支援学校の老朽化や児童生徒の増加に対応した増改築等について改善が求められている。 ・スクールバスについては、引き続き希望者全員が乗車できる体制を確保していく。
(2) 事業改善の方策 ・ブロックリーダーの巡回や担当者会において、特別支援教育におけるICT活用の3観点（コミュニケーション、活動支援、学習支援）の浸透を進めるとともに、準ずる教育課程における活用推進の好事例の共有、同じ障がい種の学校間での横展開での実践等に取り組む。 ・中長期修繕・改修計画に関しては、引き続き各校の状況を十分把握した上で、老朽化や故障等の不具合がみられる施設・設備の計画的な修繕及び改修に取り組む。 ・松本養護学校及び若槻養護学校については、新しい学びを実現する学習空間デザインやZEB化にも十分配慮した改築に努める。 ・児童生徒数の増加に対し、増築等を行い、学習環境の総合的な整備に取り組む。 ・スクールバス利用者を丁寧に把握し、ニーズに応じた運行に努めるとともに、安全な運行のため計画的にバスの更新を行う。

事業番号	15 05 02	細事業一覧（令和6年度実施事業分）			☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ■点検		
事業名	特別支援学校体制整備事業			部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課

細事業 No.	細事業名			R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	特別支援学校整備事業			459,596 千円	1,238,818 千円	1,961,572 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	松本・若槻養護学校施設整備事業	直接	松本養護学校・若槻養護学校の施設整備 基本設計、実施設計、地盤調査の実施			
2	特別支援学校教室増設事業	直接	児童生徒数の増による校舎の狭隘化に対して教室等の増築工事を行う。 整備教室数 3校26教室			
3	寿台養護学校施設整備事業	直接	児童生徒数の増による校舎の狭隘化に対して既存校舎改修工事を行う。 既存校舎改修工事の実施			

細事業 No.	細事業名			R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	特別支援学校運営事業			664,656 千円	632,693 千円	568,444 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	特別支援学校施設計画整備事業	直接	中長期修繕・改修計画等に計画されている改修工事等について計画的に実施する。 整備箇所数 16箇所			
2	通学バス・公用車整備事業	直接	経年劣化したスクールの更新、児童生徒数の増加に伴う通学生の増加に対応するためのスクールバス増便・新規配置 スクールバス更新・増車等 4台			
3	特別支援学校の図書館機能の充実	直接	児童生徒数の社会性や学習意欲を育てる重要な場である図書館について、課題の多い現状を改修し機能の充実を図る。 特別支援学校18校に図書システムの導入			
4	県立学校給食費等負担軽減事業	直接	物価高騰に伴う学校給食等の値上げに対する保護者負担の軽減を図るため、食材費高騰分を支援 実施学校数 3校			

細事業 No.	細事業名			R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
3	特別支援教育推進指導事業			312,714 千円	207,339 千円	201,761 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	学校管理運営事業費	直接	・タブレット端末等ICT活用教育の推進、環境整備、遠隔教育の推進 ・ICT機器の設定や操作研修等を実施するGIGAスクールサポーターを派遣 ・障がい特性に応じたICT機器・ATの活用を促進 ICT・ATリソースの活用支援拠点を利用する特別支援学校数 18校			